

西院中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

※様式自由。「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」の調和のとれた育成や，学校教育の重点で触れられている視点など，各中学校ブロックにおいて検討の上，地域の子どもの姿（現状と課題）から義務教育卒業時に目指す子ども像の実現に向けた小中一貫教育構想図を記載してください。

西院中学校ブロックの小中一貫教育構想図

9年間の教育目標 子どもの主体性と自立を目指す9年間の義務教育の創造

西院中学校 教育目標

- ・広い視野をもち，多様な価値観を大切にし，自らの生き方や社会の在り方を創造していくことができる人間の育成（キャリア教育）
- ・常に学ぶ姿勢を大切にし，将来にわたって，豊かにたくましく生き抜くことができる人間の育成（学力向上）
- ・礼節を重んじ，自他の存在を尊重し，命を何よりも大切に生きていくことができる人間の育成（道徳教育・人権教育）

西院中が目指す「子ども像」

- ・心のかよった元気なあいさつ ・素直な心で，“ありがとう” “ごめんなさい”
- ・“夢いっぱいの中から ”志あふれる心へ“ ・学びの場を大切にする ・心でつながり，聞き，話す

西院小学校 教育目標

自ら考え行動し，夢に向かって進む心豊かな子どもの育成

～一人一人が輝く西院の子～

西院小が目指す「子ども像」

＜自己肯定感，自己有用感を高める＞

- ・自ら進んで学習し，互いに高めあう子 ・互いに認め合い，自分も友達も大切にする子 ・身も心も鍛え，命を大切にする子

西院の子 心でつなぐ5つの約束

- ・こころのかよったあいさつ ・こころのこもった そうじ・せいとん ・すなおなこころで「ありがとう」「ごめんなさい」
- ・こころできき こころではなす ・ゆめいっぱいの こころ

確かな学力

確かな学力を身につけ，生涯にわたって自ら学び続けようとする力を育てる

- ・小学校から中学校へのスムーズな移行
→一連の教育課程，安心して学べる人的環境
- ・確かな学力をつけるための授業実践力の向上
- ・自学自習の力を身につけるための取組→「主体的な学び」
- ・小学校，中学校の枠にとらわれず，西院の子どもを育てる協働者として共通の願いと目標をもつ。

豊かな心

西院の子は西院で育てる

- ・地域で育つ子ども→地域の行事や人との繋がりで育つ
→自己有用感
- ・異年齢の関わりの中での成長→自己有用感
- ・保幼小中連携の基盤をベースにした展開
- ・地域力→学校が落ち着くと地域が落ち着く
- ・人権を尊重する心を育成する。

健やかな体

いのちと人権を大切にする

- ・基本的生活習慣を確立する。
- ・運動する機会の充実と体力の向上を図る。
- ・ものごとを継続する精神力を醸成する。
- ・地域と提携した震災・防災教育に取り組む。
- ・すべての取組において，自分と仲間，そしてすべての人間を大切に思い，尊重する態度を養う。

軸となる取組・活動

※小中一貫教育構想図の実践に向けて、軸となる取組・活動について、つけたい力を明確にした上で、中学校ブロックまたは各学校で取り組む内容を、学年または一定の学年区分ごとに記載してください。（適宜、学年または一定の学年区分ごとに、実線・枠等の記入や点線の消去をしてください。）

義務教育卒業時につけたい力								
言葉の果たす役割に応じ、的確に理解して、論理的に思考し表現する力								
互いの立場や考えを尊重して伝え合う力								
学年または学年区分ごとにめざす姿								
○自分の思いや考えを話す。 ○友達のよさに気づく。		○自分の思いや考えを、相手を意識して伝える。 ○友達のよさを認め合う。		○自分の思いや考えを相手に合わせて表現する。 ○友達と自分の違いを認める。		○各授業の中で社会人として必要な能力、課題対応能力を身に付ける。		
小 1 （ 1 年）	小 2 （ 2 年）	小 3 （ 3 年）	小 4 （ 4 年）	小 5 （ 5 年）	小 6 （ 6 年）	中 1 （ 7 年）	中 2 （ 8 年）	中 3 （ 9 年）
取組・活動								
「話す・聞く」 ○自分が体験したことを友達に話す。 ○友達のことを知り、みんなに知らせる。	「話す・聞く」 ○大事なことを落とさずに、話したり、聞いたりする。 ○順序を考えて話す。組み立てを考えて発表する。	「話す・聞く」 ○話の中心に気を付けて聞く。 ○資料から分かったことを、筋道を立てて話す。	「話す・聞く」 ○調べたことを整理し、発表する。 ○大事なことを落とさずに、聞き取りメモを工夫して聞く。	「話す・聞く」 ○話の意図を考えて、聞き合い、「聞くこと」について考える。 ○内容や構成を工夫し、説得力のあるスピーチをする。	「話す・聞く」 ○意見を聞き合い、考えを深める。 ○話し方を工夫し、資料を提示してスピーチをする。	「話す・聞く」 ○各授業の中で、相手や場に応じた話し方や目的・意図を考えながら分かりやすく話す。 ○他者の意見と比べながら、自分の考えを深める。		
「話し合い」 ○二人で問題を考え、出し合って楽しむ。	「話し合い」 ○進んで考えを出し合い、みんなで話し合う。	「話し合い」 ○お互いの意見の相違点を考えながら話し合う。	「話し合い」 ○よりよい話し合いにするために、司会の進め方を工夫する。 ○自分の立場をはっきりさせて、理由とともに意見を言う。	「話し合い」 ○話し合いの目的を明確にし、話題に沿って話し合う。 ○自分の立場を明確にして話す。 ○各自が進行に協力する。	「話し合い」 ○立場を明確にして主張し合い、考えを広げる。 ○立場や主張を明確にして発言する。 ○相手の意図を考えながら聞き、その主張が適切かどうかを検討する。	「話し合い」 ○学級・班での話し合い活動で、司会者を決め、話し合いの進行を生徒の力でする。 ○全ての教育活動において、生徒による自主企画・自主運営を行う力を身に付ける。 ○主張や質問・反論などを話し合いのルールの下で行い、自分の考えを広げたり深めたりしようとする。		
「常時活動等」 ○西院きょうとタイム ○日直のスピーチ	「常時活動等」 ○西院きょうとタイム ○日直のスピーチ	「常時活動等」 ○西院きょうとタイム ○日直のスピーチ	「常時活動等」 ○西院きょうとタイム ○日直のスピーチ	「常時活動等」 ○西院きょうとタイム ○日直のスピーチ	「常時活動等」 ○西院きょうとタイム ○日直のスピーチ	「常時活動等」 ○毎日の終学活で、一日の出来事の振り返りを班内で行い、代表者が発表することで、クラス全体で共有する。		
＜中学校ブロックとしての取組＞ ○声の大きさやはっきりと話すなど聞き手に届く話し方を身に付ける。 ○話す人の方を見て聞くなど話し手を大切にしたい聞き方を身に付ける。		○相手や目的に応じて、伝えたいことをはっきりとさせ、筋道を立てて話す。 ○話し手の伝えたいことを捉えながら聞く。 ○友達との相違点を考えながら聞き、自分の立場を明確にして話し、学級全体でよりよい話し合いをする。		○目的や意図に応じて、相手に届く話し方の工夫をする。 ○相手の意図を捉えながら聞く。 ○自分の立場を明確にし、相手の意見や主張と比べながら聞き、自分の考えが深まる話し合いをする。		○体験的な活動や課題解決に向けた議論型授業を取り込むことで授業改善を行い、授業そのもので社会人としての能力を身に付けさせる。 ○地域や各種団体の催しなどに参加して、多種多様の話し合いの場を経験し、自分の考えを深め、さらに文章にまとめて発表する機会を増やしている。		

義務教育卒業時につけたい力 規範意識を身に付け、思いやりの心を持ち、自主的に判断し行動できる力 思いやりの心をもって人と接するとともに、互いの個性や立場を尊重する態度 命の尊さを感じ、自分も友達も大切に作る態度								
学年または学年区分ごとにめざす姿								
○友達と仲よくする。 ○学習の仕方を身に付ける。 ○友達のよいところ、じぶんのよいところがわかる。 ○ルールを守って楽しく一日を過ごす。		○よいこと、よくないことをしっかり見極める。 ○進んで学習をする。 ○自分のよいところをのぼし、友達のがんばりを認め励まし合う。 ○社会のルールやマナーを身に付ける。		○事実を確かめ、予断や偏見で判断しない。 ○夢に向かう計画的な学習をする ○正しい判断と確かな知識で不合理に対して自らの考えをきちんと話することができる。 ○豊かな社会性を身に付け、地域の一人として自覚する。		○「人とふれ合うこと」で自己の能力を発揮する。 ○自他の違いを認め、互いを尊重できる人間性、男女が互いに尊重され協力する活動をする。		
小 1 （1年）	小 2 （2年）	小 3 （3年）	小 4 （4年）	小 5 （5年）	小 6 （6年）	中 1 （7年）	中 2 （8年）	中 3 （9年）
取組・活動								
「西院の子 心でつなぐ5つの約束」 ○心のかよった挨拶 相手の目を見て、大きな声で元気よく行う。 ○素直な心で「ありがとう」「ごめんなさい」 相手への感謝の気持ちや自分の過ちに対する素直な気持ちを伝え合う。 ○心のこもった掃除・整頓 自分の身の回りを整え、友達と気持ちよく過ごすことができるようにする。 ○心で聞き、心で話す。 自分の思いを話し、相手の思いを最後まで、興味をもって聞く。 ○夢いっぱいの心 自分の夢や憧れ、目標をもち、何事にも進んで取り組み、なりたい自分の実現に向けて自らを伸ばそうとする。 「人権デーの学習」 ○様々な人について知り、どの人とも仲良くできる態度を育てる。 ・人権の認識を育てる指導 ・総合育成支援教育 ・外国人教育 ・男女平等教育 ○自分の体について知り、健康な体を育てる。 ・性教育 ○約束やきまりを守り、人やものを大切にする態度を育てる。 ・情報モラル ・生徒指導 「道徳の時間の指導」 ○挨拶などの基本的生活習慣や社会生活上のきまりを身に付ける。 ○善悪を判断し、人間としてしてはならないことをしない態度を育てる。		「西院の子 心でつなぐ5つの約束」 ○心のかよった挨拶 相手を思い、心をこめて笑顔で行う。 ○素直な心で「ありがとう」「ごめんなさい」 相手を思い、自分の行動を振り返り、素直な気持ちを伝え合う。 ○心のこもった掃除・整頓 友達と協力し、教室や学校をきれいにし、みんなで気持ちよく過ごすことができるようにする。 ○心で聞き、心で話す。 相手や目的に応じて、自分の思いを話し、相手の思いを最後まで聞き、質問したり、感想を述べたりする。 ○夢いっぱいの心 自分の夢や憧れ、目標をもち、何事にも積極的に取り組む、なりたい自分の実現に向けて自らを伸ばそうとする。 「人権デーの学習」 ○様々な人について考え、どの人とも協力し、支え合う態度を育てる。 ・人権の認識を育てる指導 ・総合育成支援教育 ・外国人教育 ・男女平等教育 ○男女の体の違いについて知り、健康な体を育てる。 ・性教育 ○自分の言動に責任をもち、相手を思いやる心やものを大切にする心を育てる。 ・情報モラル ・生徒指導 「道徳の時間の指導」 ○集団や社会のきまりを守る態度を育てる。 ○身近な人々と協力し助け合う態度を育てる。		「西院の子 心でつなぐ5つの約束」 ○心のかよった挨拶 時や場に応じて、心をこめて適切に行う。 ○素直な心で「ありがとう」「ごめんなさい」 相手を思い、自分の行動を振り返り、互いの心が通うよう素直な気持ちを伝え合う。 ○心のこもった掃除・整頓 学校や地域の一人として、学校や地域をきれいにし、みんなで気持ちよく過ごすことができるようにする。 ○心で聞き、心で話す。 目的や意図に応じて、自分の思いを話し、相手の思いを自分と比べながら最後まで聞き、自分の思いをまとめる。 ○夢いっぱいの心 自分の夢や憧れ、目標をもち、何事にも積極的かつ計画的に取り組む、なりたい自分の実現に向けて自らを伸ばそうとする。 「人権デーの学習」 ○様々な人の立場になって考え、全ての人と共に生きようとする態度を育てる。 ・人権の認識を育てる指導 ・総合育成支援教育 ・外国人教育 ・男女平等教育 ○思春期の心と男女の体のしくみについて知り、健康な心と体を育てる。 ・性教育 ○自分と他者を大切にし、社会の一人として責任ある行動をとる。 ・情報モラル ・生徒指導 「道徳の時間の指導」 ○法やきまりの意義を理解する。 ○相手の立場を理解し支え合う態度を身に付ける。 ○集団における役割と責任を果たす。 ○国家・社会の一人としての自覚をもつ。		「礼節」 ○相手の顔を見て、心のかよった挨拶をする。(毎朝、生徒会本部と生活委員が中心となって、全校生徒への挨拶運動を実施) ○心のこもった掃除・整頓（美化委員会を中心として、清潔な環境の維持) ○夢、志を大切に意識した学校生活 (教育活動全般で将来のより良い生き方や自身の夢・志を大切に進路実現にむかう) 「人権学習」 ○あらゆる差別を許さない人権尊重の精神をもって、問題解決に取り組む。 「総合的な学習」 ○地域の独居老人を招き、心をこめた、思いやりのあるおもてなしをすることで自己有用感を味わう。 ○地域にある公園の清掃をする。 「道徳の時間の指導」 ○自主的に考え行動する態度を養い、自律性を身に付ける。 ○誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場を尊重し、助け合う心を身に付ける。 ○社会生活を送るうえで人間として持つべき規範意識を身に付ける。 ○生命の尊さを知り、自他の生命を尊重する心をもつ。 「合唱コンクール」		
＜中学校ブロックとしての取組＞ ○学校の約束や決まりを守り、友達と仲良く過ごす。		○学校の約束や決まりを守り、友達と協力して過ごす。		○学校の約束や決まりを守り、他者の立場になって考え、学校のリーダーとして過ごす。 ○ふれあい喫茶で高齢者や地域のひとと交流をする。		○「デイケア」・「ふれあいまつり」などで高齢者や障害のある人、地域の人との交流をする。在日外国人問題にふれ、韓国姉妹校との交流による国際交流と多文化理解をする。広島修学旅行に向けて平和学習の取組をする。		
				○地域の高齢者宅に訪問し、地域の交通安全推進会の方と一緒に交通安全を呼びかける。		○震災防災の取組を地域と連携して実施し、命について学習するとともに、地域の一人としての自覚を高める。		

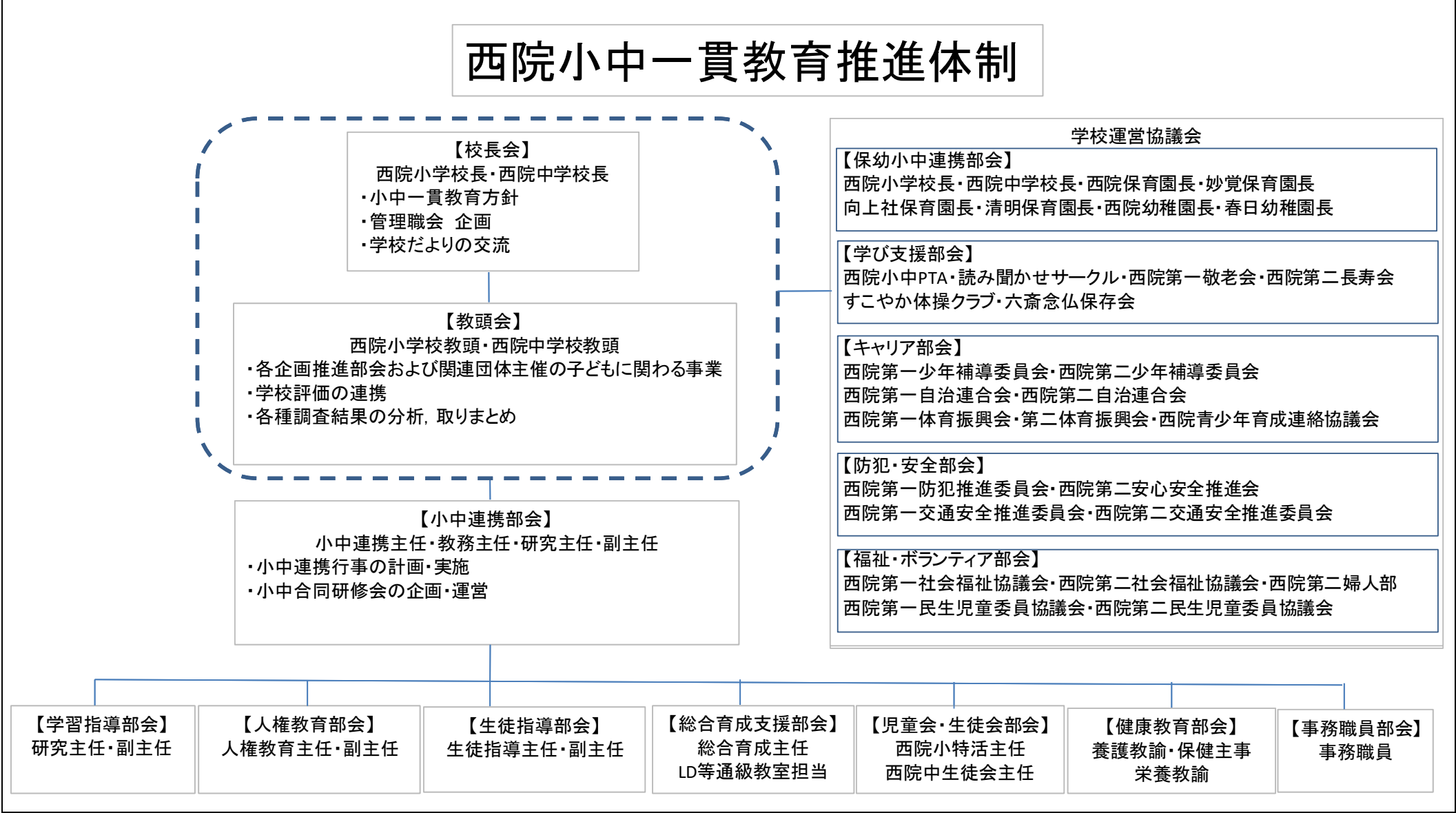
義務教育卒業時につけたい力								
志や夢をもち、社会をたくましく生き抜く力								
主体的に学びに向かう子ども								
自己目標をしっかりともち、実践する子ども								
社会の一員として自己の責任を果たす子ども								
学年または学年区分ごとにめざす姿								
○自分の思いや考えが言える。 ○友達や集団とともに行動することの楽しさを知る。		○互いの良さを認め、協力して学習や活動に取り組む。 ○目標をもち、自分の力で解決しようと努力する。		○自分の行動について自己判断、自己決定し、主体的に行動する。 ○振り返りに基づいて、より高い自己目標をもち、先を見通して計画的に行動する。		○自分の夢や希望に基づいて、将来の生活や生き方について考え、社会の中で自己の置かれた状況としての現実もふまえながら、将来展望の実現に向けた計画を立て、意欲的に行動しながら、最善の選択をすることができる。		
小 1 （ 1 年）	小 2 （ 2 年）	小 3 （ 3 年）	小 4 （ 4 年）	小 5 （ 5 年）	小 6 （ 6 年）	中 1 （ 7 年）	中 2 （ 8 年）	中 3 （ 9 年）
取組・活動								
「道徳」 ○みんなと楽しく過ごすために ○ソーシャルスキル ○全校道徳（年 2 回実施） 「特別活動」 ○運動会	「道徳」 ○思いやり、協力 ○全校道徳（年 2 回実施） 「特別活動」 ○運動会	「道徳」 ○信頼、助け合い ○自分のよさ ○明るい心 ○全校道徳（年 2 回実施） 「特別活動」 ○運動会	「道徳」 ○互いを理解する ○全校道徳（年 2 回実施） 「特別活動」 ○運動会	「道徳」 ○信頼、友情、協力 ○全校道徳（年 2 回実施） 「特別活動」 ○運動会	「道徳」 ○学校のリーダーとして ○全校道徳（年 2 回実施） 「特別活動」 ○運動会	「道徳」 ○勤労の尊さ ○学級・学年・全校道徳の実施により、社会との関わりや人権について発表 「特別活動」 ○体育大会（生徒の自主企画・自主運営による応援団組織作りをする。） ○キャリア学習	「道徳」 ○勤労の尊さ ○学級・学年・全校道徳の実施により、社会との関わりや人権について発表 「特別活動」 ○体育大会（生徒の自主企画・自主運営による応援団組織作りをする。） ○キャリア学習	「道徳」 ○勤労の尊さ ○学級・学年・全校道徳の実施により、社会との関わりや人権について発表 「特別活動」 ○体育大会（生徒の自主企画・自主運営による応援団組織作りや3年団体演技発表など） ○キャリア学習
「生活科」 ○学校探検 ○家族ためにできることについて ○自分の 1 年間の成長の振り返り 「国語科」 ○自分の 1 年間の成長の振り返り 「算数科」 ○自分の 1 年間の成長の振り返り	「生活科」 ○2 年生になって ○町たんけん ○自分の成長	「社会科」 ○地域の生活について ○地域に伝承されてきたことについて 「総合的な学習の時間」（まい・ちゃれんじ） ○地域社会	「国語科」 ○他者とのよりよい関わりについて 「総合的な学習の時間」（まい・ちゃれんじ） ○環境（エコライフチャレンジ） ○障害者福祉	「国語科」 ○6 年生への期待や抱負について 「総合的な学習の時間」（まい・ちゃれんじ） ○高齢者福祉 ○情報化社会 ○スチューデントシティ	「国語科」 ○未来の社会に向けて、自分ができることについて ○卒業時の自分の思いをスピーチする。 「総合的な学習の時間」（まい・ちゃれんじ） ○わたしたちのくらしと森林 ○京の伝統工芸	「総合的な学習の時間」 ○西院デイケア（西院地域独居老人と1年生の交流事業） ○職業調べ、事後発表 ○ファイナンスパーク学習 ○クリーン活動（地域の公園を中心に清掃活動）、事後学習	「総合的な学習の時間」 ○高校訪問、事後発表 ○修学旅行（平和学習等の事前・事後学習を発表する。） ○グリーン活動（地域施設への育てた花とプランター配布）	「総合的な学習の時間」 ○チャレンジ体験（地域の事業所での体験により、地域連携や学校運営協議会連携事業） ○保幼小での絵本の読み聞かせ（地域の読み聞かせボランティアと共同開催）
「SSH 事業」 ○生活科発表会	「SSH 事業」 ○生活科発表会	「SSH 事業」 ○まい・ちゃれんじ発表会	「SSH 事業」 ○まい・ちゃれんじ発表会	「SSH 事業」 ○まい・ちゃれんじ発表会	「SSH 事業」 ○まい・ちゃれんじ発表会 「小中合同学習」 ○西院フォーラム（人権・キャリア学習につながる、外部講師を招いての講演会を、地域と共に実施）	「SSH 事業」 ○2 月にポスター発表会を実施 「小中合同学習」 ○西院フォーラム（人権・キャリア学習につながる、外部講師を招いての講演会を、地域と共に実施）	「SSH 事業」 ○2 月にポスター発表会(セッション)を実施 「小中合同学習」 ○西院フォーラム（人権・キャリア学習につながる、外部講師を招いての講演会を、地域と共に実施）	「SSH 事業」 ○7 月にポスターセッションを実施 「小中合同学習」 ○西院フォーラム（人権・キャリア学習につながる、外部講師を招いての講演会を、地域と共に実施）
＜中学校ブロックとしての取組＞ ○自分を知り、自分の夢や憧れ、目標をもつ。 ○友達のよさに気付き、そのよさを取り入れ、さらに自分を伸ばそうとする。 ○1 年生は、校区にある保育園・幼稚園の園児を招待し、秋祭りを開催することで、自主・自立を図る。 ○2 年生は校区探検に出かけ、町の素敵を見つけ、人々の思いを知り、町のよさに気付く。		○自分のよさを知り、自分の夢や憧れ、目標をもつ。 ○自分や友達のよさを認め合い、互いを伸ばそうとする。 ○6 年生が中学生から学んだ発表（ポスター発表やプレゼンテーション）のポイントを学ぶ。		○自分を見つめ、自分の夢や憧れ、目標をもつ。 ○自分や友達のよさを認め合い、集団として高まり合おうとする。 ○様々な人々の考え方や生き方を知り、自分の生き方について考える。 ○西院中生のポスター発表を見学したり、発表のポイントを学んだりする。（6 年） ○6 年生が中学生から学んだ発表（ポスター発表やプレゼンテーション）のポイントを学ぶ。（5 年）		○3 年生では、家庭科と総合的な学習の連携授業として、校区にある全ての保育園・幼稚園・小学校に、地域の読み聞かせボランティアの方とともに絵本の読み聞かせや保育実習を実施。 ○SSH 事業としてのポスター発表やポスターセッションにより、自分の思いや考えを分かりやすく伝える力を培うことにより、「社会力」を熟成させる「つながりの実践」を具体化する。 ○進路展望とその拡大につながる活動のすべてをキャリア教育の実践と位置付け、自己表現の充実と改善によって、発展的な活動を構成する。 ○西院中でしかできないキャリア教育を体感できる実践の系統的・計画的実現に向けて研鑽・検討・行動化する。 ○西院小学校の児童にポスター発表の方法や効果的な発表について、小学校の授業に参加してポイント等を教え、交流する。その結果、小学校の「まい・ちゃれんじ発表」に活かしてもらう。		
○「造形展」では、本校児童の作品の他に校区にある保育園・幼稚園の園児の作品、中学生の作品、地域の方の作品を展示し、そのよさに気付くとともに、創作意欲を高める。 ○「ふれあいコンサート」では、子ども六斎や校区にある保育園・幼稚園の園児、小学校の音楽部、中学校の吹奏楽部、中学 2 年生など、多くの団体が出演するコンサートを実施し、感性を豊かに育てている。				○小中合同学習として西院フォーラムでは、西院中学校で西院小学校の 6 年生と西院中学校全校生徒が地域生徒指導連絡協議会主催による、将来のより良い生き方について、外部講師から学ぶ取組を実施。				

学びの約束・ルール

項 目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
話す・聞く	「話す」 ○聞き手を見て話す。 ○はっきりと話す。 ○場にあった声の大きさと話す。 ○聞き手に伝わるように話す。 ○大事なことを落とさないように話す。 ○簡単な資料を見せて話す。 「聞く」 ○話し手を見て聞く。 ○うなずきながら聞く。 ○大事なこと落とさないように聞く。 ○自分と比べながら聞く。	「話す」 ○聞き手を見て話す。 ○場にあった声の大きさではっきりと話す。 ○聞き手に分かりやすく話す。 ○間のとり方など、聞き手が聞きやすい話し方をする。 ○話の筋道を立てて話す。 ○資料を提示し、大事なところを指し示しながら話す。 「聞く」 ○話し手を見て聞く。 ○うなずきながら聞く。 ○大事なこと落とさないように聞く。 ○自分との相違点を見つけながら聞く。 ○話の中心を捉えて聞く。	「話す」 ○聞き手を見て話す。 ○場にあった声の大きさではっきりと話す。 ○聞き手に分かりやすく話す。 ○間のとり方など、聞き手が聞きやすい話し方をする。 ○話の筋道を立てて話す。 ○資料を提示し、大事なところを指し示しながら話す。 「聞く」 ○話し手を見て聞く。 ○うなずきながら聞く。 ○大事なこと落とさないように聞く。 ○自分との相違点を見つけながら聞く。 ○話の中心を捉えて聞く。	「話す」 ○聞き手を見て話す。 ○場にあった声の大きさではっきりと話す。 ○聞き手に分かりやすく、聞き取りやすい話し方を工夫する。 ○説得力のある話し方をする。 ○意図を明確にして話す。 ○効果的な資料を提示して話す。 「聞く」 ○話し手を見て聞く。 ○うなずきながら聞く。 ○大事なこと落とさないように聞く。 ○自分との相違点を見つけながら聞き、自分の考えをまとめる。 ○話の意図を捉えて聞く。	「話す」 ○聞き手を見て話す。 ○場にあった声の大きさではっきりと話す。 ○聞き手に分かりやすく、聞き取りやすい話し方を工夫する。 ○説得力のある話し方をする。 ○意図を明確にして話す。 ○効果的な資料を提示して話す。 「聞く」 ○話し手を見て聞く。 ○うなずきながら聞く。 ○大事なこと落とさないように聞く。 ○自分との相違点を見つけながら聞き、自分の考えをまとめる。 ○話の意図を捉えて聞く。	「話す」 ○各授業の中で相手や場に応じた話し方や目的・意図を考えながら分かりやすく話す。 ○聞き手に分かりやすく、聞き取りやすい発表を工夫する。 ○発表場面では、できる限り原稿を持たず発表する。 ○自分の考えや考えた経緯・根拠について、説得力のある話し方で発表を工夫する。 「聞く」 ○自分の考えと比べながら聞き、自分の考えを深める。 ○聞き手としての質問する力や反論する力を身につけることで自分の考えに広がりをもたせる。			
ノート作り	○丁寧な文字で書く。 ○1マスに1文字、文字の大きさをそろえて書く。 ○めあて、問題、まとめ、ふりかえり等、黒板と同じように書く。 ○黒板と同じように、黒、赤、青の色を使って書く。	○丁寧な文字で書く。 ○書く量に応じて、文字の大きさを考える。 ○行頭をそろえて書く。 ○黒板を見ながら、ノートに必要なことを書く。 ○見やすいように工夫して、赤、青の色を使って書く。	○丁寧な文字で書く。 ○書く量に応じて、文字の大きさを考える。 ○行頭をそろえて書く。 ○黒板を見ながら、ノートに必要なことを書く。 ○見やすいように工夫して、赤、青の色を使って書く。	○丁寧な文字で書く。 ○書く量に応じて、文字の大きさを考える。 ○行頭をそろえて書く。 ○黒板を見たり、先生や友達の説明を聴いたりして、必要なことをノートに書く。 ○見やすいように工夫して、色を使い分けて書く。 ○授業の中で考えたこと、思ったことをノートに残していく。 ○友達の発表を聞きながら、大切なことをメモする。	○学習内容を整理して見やすく、自学自習に活かせる分かりやすいノートづくりを心がける。 ○誤答や考え方の足りなかった部分を大切に記録する。 ○自分の考えや学習のポイントなど、色分けをするなど工夫をしてまとめる。 ○他の発表と自分の考え方との違いや自分の考えの変化などを記録する。				
適切な挨拶・言葉づかい	「適切な挨拶」 ○挨拶や返事をする時は、大きな声で元気よく行う。 ○正しい挨拶や返事の仕方を理解する。 「言葉づかい」 ○丁寧な話し方を理解する。 ○丁寧な言葉で話すようにする。	「適切な挨拶」 ○挨拶や返事をする時は、場に応じた声の大きさと、はっきりと行う。 「言葉づかい」 ○場や相手に応じて丁寧語を使うようにする。	「適切な挨拶」 ○挨拶や返事をする時は、場に応じた声の大きさと、はっきりと行う。 「言葉づかい」 ○場や相手に応じて丁寧語を使うようにする。	「適切な挨拶」 ○自ら挨拶をし、低学年のよい見本となる ○相手の方を向いて、心の通った挨拶をする。 「言葉づかい」 ○丁寧語・尊敬語・謙譲語を理解し、使うようにする。	「適切な挨拶」 ○相手の顔を見て、心のこもった挨拶を校内にいる全ての人に行う。 「言葉づかい」 ○丁寧語・尊敬語・謙譲語を適切に使う。 ○相手の年齢や場面に応じた言葉づかいや伝え方をする。				

小中一貫教育推進体制

※様式自由。小中合同の校務分掌の部会等，小中一貫教育を推進する体制を記載してください。



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

※様式自由。学校だより・HPによる取組の周知や，学校評価アンケート項目の統一など，家庭・地域との連携・協力に向けた取組について，記載してください。

一小一中の環境にある中学校ブロックであり，学校運営協議会，地域生徒指導連絡協議会，PTA おやじの会など主な連携団体は，全て西院小中合同の組織で運営している。その結果，家庭・地域の連携・協力における現状分析や課題の共有が，迅速に行われ機能している。学校運営協議会は，発足当初より小中合同で組織運営しており，学校運営協議会理事とともに小中の学校評価結果の報告など情報交換を密に行い， 9カ年の学びについて考えることができています。地域生徒指導連絡協議会（本ブロックでは西院青少年育成連絡協議会）は，本市の地域生徒指導連絡協議会制度の開始前より，西院地域で組織した経緯があり，現在も多数の活動が小中の児童・生徒の枠を超えて子どもの健全育成を目的に活動している。特に，西院青少年育成連絡協議会が中心となって，ブロック内の全保育園・幼稚園・小学校・中学校や地域諸団体と連携して，文化発表会を合同行事として実施している。また，小中のPTA 同士の交流も，PTA 本部役員における交流や小中合同おやじの会における交流など活発に実施している。

西院小・中学校の取組の周知として，周知方法も保幼小中で揃えており，毎月発行する学校だよりを各校園の保護者だけでなく，中学校ブロックの全ての保育園・幼稚園・小学校・中学校に配布している。また，小・中学校の学校だよりは，ブロック内の自治連合会・組長に協力頂き，各町内ごとの回覧を利用して取組や成果の啓発を行い，地域に開かれた学校を目指している。